

# 沖縄 首里城公園

琉球王国の  
栄華を物語る  
世界遺産



## 入場料金のご案内

	大人	中人 (高校生)	小人 (小・中学生)	6歳未満
一般	400円	300円	160円	無料
団体	320円	240円	120円	
年間パスポート	800円	600円	320円	—

- 団体料金は20名様以上から適用いたします。
- モノレールのフリー乗車券(1日券・2日券)を券売所窓口にてご提示いただくと、団体料金が適用されます。  
※フリー乗車券の有効期限内でお一人様1回(入場券1枚)限りの適用となります。
- 学校行事の場合は、20名未満でも団体料金の適用が可能です。(要事前申込)
- 心身に障がいのある方、および付き添い者1名は無料で入場できます。券売所窓口にて、身体障がい者手帳、精神障がい者手帳、保健福祉手帳、療育手帳をご提示ください。

## 開場時間のご案内

9:00~17:30 (入場券販売締切17:00)

- 施設等の維持管理上、毎年7月の第1水曜日とその翌日を休場日とさせていただきます。
- 城壁等のライトアップを日没からご覧いただけます。  
(お時間の詳細は、お問い合わせください。)

## 首里城公園イベント情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のイベントは中止している場合がございます。実施と開催時間や再開等についてはHPにてお知らせいたします。皆様のご理解・ご周知・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



**御開門(うけ-じょー)**  
開門を告げる朝の儀式  
●毎日8:55~ ●奉神門  
※休場日および荒天時は中止します。

## 交通のご案内

### 1.路線バス

- ▶市内線14・17番・市外線86番に乗り、「首里城公園入口」のバス停にて下車、徒歩約5分で守礼門に到着。
- ▶首里城下町線の7・8番に乗り、「首里城前」にて下車。徒歩1分で守礼門前に到着。
- ▶市内線の9・13番・市外線25・97・15番に乗り、「山川バス停」にて下車、徒歩15分で守礼門に到着。

### 2.観光バス・乗用車・タクシー

那覇空港から約10km 所要時間約40~50分。バス・乗用車・タクシーは、首里社館(首里城公園レストセンター)地下駐車場にゆとりがある場合、係員の誘導により駐車することができます。

#### ▶首里社館駐車場ご利用料金

大型バス	970円(回数券11回分 9,700円)
小型車	320円(回数券11回分 3,200円)

#### ▶首里社館駐車場開放時間

8:30~18:00

### 3.モノレール(ゆいレール)

モノレール(ゆいレール)の場合、首里駅または儀保駅にて下車。徒歩約15分で守礼門に到着。



## お問い合わせ

### 首里城公園管理センター

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地  
TEL.098-886-2020(代) FAX.098-886-2022

<http://oki-park.jp/shurijo/>

22.11.70.000

※写真の店舗の営業状況はHPをご確認ください。  
詳細はHPにてご確認ください。

**ショウワ紅型B1**  
沖縄限定のお菓子やドリンクなどを販売しています。  
◎8:30~17:30



**カエ龍燻**  
沖縄そばやタコライスなど、軽食をお楽しみください。  
◎9:00~17:30  
(ラストオーダー17:15)



総合案内所やレストラン、カフェ、ショウワなど、首里城見学の見学拠点となる施設です。ぜひ見学前と見学後にお立ち寄りください。

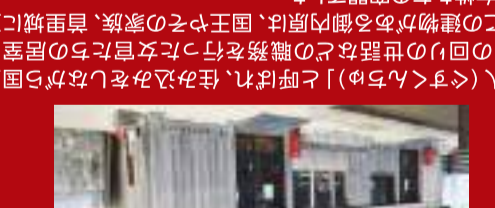


## 首里城公園 レストラン

**星茶サービス**  
統一茶葉をお楽しみいただけます。◎9:00~18:00  
(ラストオーダー17:30) ◎お一人様500円(税込)  
伝統的な琉球菓子をお楽しみいただけます。◎9:00~18:00  
サービスをご提供しています。  
現在、休館として使用しているほか、有料の星茶は、城内で使用する物品、資材などを管理していた役所として、城内の家系図を管理していた役所。[用物座]



**茶図座・用物座**  
[茶図座]は、土族の家系図を管理していた役所。[用物座]は、城内で使用する物品、資材などを管理していた役所として、城内の家系図を管理していた役所。[用物座]  
シヨウワや休館できるスペースを設けており、首里城オリジナル商品やお土産を販売しております。◎9:00~17:30



**女官居室**  
城人(くさくちん)と呼ばれ、住み込みをしながら国王の身の回りの世話などの職務を行った女官たちの居室です。この建物がある御内原は、国王やその家族、首里城に勤める女性たちの空間でした。  
首里城火災後の石獅子、小龍柱などの残存物を展示。また、琉球王国の美の結晶である首里城正殿の復元をサライネ・シバネ元で紹介します。  
◎9:00~17:30



## 首里城復興展示室

時代	年	出来事
中国	1372	中山王義隆、初めて明に使節を送る
朝鮮	1406	高麗(高麗)の元王に使者を送る
徳川幕府	1427	龍潭を掘り、庭園を整備した
徳川幕府	1429	尚巴志、三山を統一。琉球王国が成立
徳川幕府	1453	「志魯・布里の乱」が起こり首里城を焼
徳川幕府	1458	万国津梁の礎を正殿に掛ける
徳川幕府	1470	尚門、王位につく。瑞泉門を創建
徳川幕府	1477~1526	この頃、久慶門を創建する
徳川幕府	1494	円覚寺を創建
徳川幕府	1501	玉陵築造
徳川幕府	1502	円覚寺、非財天堂創建
徳川幕府	1519	圓比屋武御殿石門を創建
徳川幕府	1527~55	この頃、龍燻、首里門(守礼門)を創建
徳川幕府	1546	首里城東南の城壁を二重にし、継世門を築く
徳川幕府	1609	島津の琉球侵入
徳川幕府	1621~27	この頃、南殿、創建
徳川幕府	1660	首里城焼失
徳川幕府	1672	首里城再建
徳川幕府	1682	龍頭棟飾を焼き正殿、屋根に置く
徳川幕府	1709	首里城焼失
徳川幕府	1712	首里城再建、1715年に完了する
徳川幕府	1729	正殿の玉座を中央に移し、「唐城堂」と改名
徳川幕府	1733	龍燻、世宗廟を創建
徳川幕府	1768	正殿の大修理が行われる
徳川幕府	1799	龍燻が焼失される
徳川幕府	1833	〜一掃復興。首里城訪問
徳川幕府	1872	琉球藩設置
徳川幕府	1879	首里城明け渡し。琉球王国の崩壊
徳川幕府	1925	首里城正殿、国宝に指定される
徳川幕府	1928	国宝に指定された首里城正殿の昭和の大改修始まる
徳川幕府	1933	守礼門、国宝に指定される
徳川幕府	1945	沖縄戦により首里城焼失
徳川幕府	1958	守礼門復元
徳川幕府	1968	円覚寺総門、非財天堂復元
徳川幕府	1972	日本土復元
徳川幕府	1974	敷金門、復元竣工
徳川幕府	1977	玉陵、復元竣工
徳川幕府	1984	久慶門、復元竣工
徳川幕府	1989	首里城正殿、復元工事着手
徳川幕府	1992	首里城公園一部開園
徳川幕府	2000	北殿にて九州・沖縄サミット社交夕食会開催
徳川幕府	2003	京の内一般公開
徳川幕府	2007	善院・鎮之間一般公開
徳川幕府	2008	善院・鎮之間庭園一般公開
徳川幕府	2009	善院・鎮之間庭園、国の名勝に指定される
徳川幕府	2010	御門一般公開
徳川幕府	2014	黄金御殿・善院・庭園・非財天堂一般公開
徳川幕府	2019	御内原エリ等一般公開
徳川幕府	2020	首里城再建に向けて始動

首里城は十四世紀頃に創建されたといわれ中国や日本の文化も混合する琉球独特の城です。沖縄戦で焼失しましたが、1992年11月3日に正殿をはじめ一部が復元されました。その後の2019年10月31日、首里城火災により正殿を含む8棟が焼失しました。

## 首里城の歴史

# 首里城公園

## 琉球王国の政治・外交・文化の中心地として威容を誇った首里城

荘厳な城門をいくつも通ると現れる正殿は、琉球王国最大の木造建造物でした。

中国と日本の築城文化を融合した独特の建築様式や石積み技術には、文化的にも歴史的にも高い価値があるとされ、世界文化遺産に登録されました。

他にも園内には、守礼門や園比屋武御嶽石門、円覚寺跡などの文化財が点在しています。

2019年10月31日、正殿等は火災により焼失いたしました。現在、首里城公園は城郭内の一部区域を除きご利用を再開しております。また、正殿復元は2026年完成を目指しております。引き続き首里城の復興に努めてまいります。

- 通常見学コース (所要時間約1時間30分)
- バリアフリーコース (所要時間約1時間20分)
- 首里駅からのアクセス
- ← 首里駅へのアクセス

- 無料区域
- 有料区域

**車イス・杖・ベビーカーの無料貸出し**  
すいむいかんと奉神門にて貸出しを行なっています。お近くの係員へお申し付けください。



### 1 守礼門(しゅれいもん)

扁額を掲げる中国の牌楼(ばいろう)に似た形式の門。王城へ向かう本通り途中の上の方にある美しい門として庶民からも愛されました。扁額の「守禮之邦」は、「琉球は礼節を重んずる国である」という意味。1527~1555年に創建。沖繩戦で破壊され、現在の門は1958年に復元されたものです。



### 3 龍樋(りゅうひ)

龍の口から水が湧き出ていることが名の由来。瑞泉門の手前にあり、主宮や賓客の大切な飲料水でした。

### 2 園比屋武御嶽石門 (そのひやうたきいしもん)

国王が外出する時の安全をこの石門の前で祈願しました。1519年に創建されましたが、沖繩戦で一部破壊され、1957年に復元。2000年12月に琉球王国のグスク及び関連遺産群の一つとして世界遺産に登録されました。



### 4 広福門(こうふくもん) ※券売所

扁額の「広福」とは「福を行き渡らす」という意味。建物自体に門の機能があり、東側は戸籍を管理する「大与座(おおくみざ)」、西側は寺や神社を管理する「寺社座(じしゃざ)」がありました。現在は券売所として使用されています。



### 5 奉神門(ほうしんもん) ※改札所

正殿前広場の「御庭(うな)」へ続く最後の門。3つの入り口のうち中央の門は国王など限られた身分の高い人だけが通れる門でした。開門を告げる朝の儀式「御開門(うけいじょう)」を見ることができます。現在は改札所です。



### 7 見学エリアからの景色

曲線を描く城郭北側の壁面や、右掖門の屋根を近くに見ることができ、また彼方には龍潭の畔を望むなど、以前北殿があったところは違った角度での眺望を楽しむことができます。復元工事が行われている「今」しか見ることができない風景をご覧ください。



### 6 原寸場見学エリア

有料区域の北側にあり、建物内で行われている正殿復元工事の様子をガラス越しにご覧いただけます。



### 8 世誇殿(よほごりでん)

国王が亡くなると、次期国王の即位の礼が行われた場所。普段は、未婚の王女の居室として使用されていました。



### 9 東のアザナ(あがりのあざな)

城郭の東側に築かれた物見台。城郭内一帯や城下をはじめ、四方を見渡すことができます。東は日が昇る場所のため方言で「アガリ」と言い、アザナは「物見台」を意味します。※雨天時のご利用いただけません。

- 案内所
- 貸出センター (車イス・杖・ベビーカー)
- 喫煙所
- ATM
- トイレ
- AED (自動体外式除動器)
- エレベーター
- 飲食店
- 授乳室
- 駐車場
- エスカレーター
- 売店
- 救護室
- 駐輪場
- コインロッカー